

地球温暖化対策

その他の取組

低炭素ビル評価の取組

中小低炭素モデルビル

中小低炭素モデルビル

東京都は、CO₂排出量の少ない低炭素なビルが評価される不動産市場の形成を目指し、平成24年5月に「**低炭素ビルの評価指標(低炭素ビルベンチマーク)**」を公表しました。

東京都が作成した低炭素ビルベンチマークでは、CO₂排出原単位(延床面積1㎡あたりの年間CO₂排出量)により、排出の程度に応じて7つに区分しています。ベンチマーク上でA1以上が、CO₂排出量の小さい低炭素ビルの目安となります。

東京都では、低炭素ビルベンチマークでA1以上の積極的に省エネに取り組む中小テナントビルを「**中小低炭素モデルビル**」として公表しています。

*「**中小低炭素モデルビル**」の募集も随時行っています。公表を希望される方は、こちらをご覧ください。

中小低炭素モデルビル(50音順)



黒龍芝公園ビル(港区)

- 事業者 株式会社黒龍堂
- 延床面積 9,506㎡
- 排出原単位 56.3kg-CO₂/㎡
- 低炭素ビルベンチマーク A2
(中規模テナントビル)

[詳細はこちら.pdf\(339 KB\)](#)



東京建物東渋谷ビル(渋谷区)

- 事業者 東京建物株式会社ほか
- 延床面積 15,778.72㎡
- 排出原単位 58.6kg-CO₂/㎡
- 低炭素ビルベンチマーク A1
(準大規模テナントビル)

[詳細はこちら.pdf\(287 KB\)](#)



虎ノ門15森ビル(港区)

- 事業者 森ビル株式会社
- 延床面積 11,227㎡
- 排出原単位 50.6kg-CO₂/㎡
- 低炭素ビルベンチマーク A2
(準大規模テナントビル)